

タウンプラス 登米市の皆様へ



蒸し暑い日が続いておりますが、皆様におかれましては、お元氣でご活躍の事と存じます。

第12回目の県政報告が出来ますのも皆様のご支援の賜物と、こころから感謝を致しております。

過日の参議院選挙から、選挙権が18歳以上に引き下げられました。若い有権者の参加を心から歓迎し、また積極的なご参加をお願い致します。

さて、6月定例県議会が6月15日に開会致しました。前議長が県民不信を招いた一連の責任を取り辞任にし、新たに出直すべく新議長に、黒川選出の中山幸一氏が選出されました。前議長の件につきましては、皆様に多大なご心配をおかけし誠に申し訳なく存じます。私からもおわび申し上げます。

今議会の議論では、熊本地震を受けて広域防災拠点と長町利府活断層に関する事、乳幼児医療費助成拡大、東日本大震災の現況と観光面の復旧の遅れなど議論が交わされました。私も、一般質問の機会をあたえていただき、林業、農業、水害などについて質問し(一部を裏面に記載いたしました)意見書5件、一般会計補正予算案他52件を議決し、7月5日に閉会致しました。

今後も「登米市からの発信」「登米市民から見える県政」を心がけて活動を致しますので、皆様からのご貴重なご意見・提案・ご要望をお寄せ頂きます様お願い申し上げます。まだまだ暑さがつづきますので、ご自愛いただき、ますますのご活躍をお祈り申し上げます。

宮城県議会議員 **わたなべ 忠悦**

活動アルバム



旧北上川分流せき施設視察



みやぎ県北高速幹線道路工事現場視察



要望会（知事への陳情行動）



釜閘門（かまこうもん）現場視察（地元の方々と）



野蒜北部丘陵地区防潮堤工事視察



北上運河復旧現場視察

活動のリズム、ひらめきの音

主な一般質問要旨 & 回答要旨

平成28年6月定例県議会 本会議



質 問

登米市でも問題になっておりますが、流通米の需給バランスの均衡により一部に品薄感も生じていると聞きます。主食用米の流通に対する現状認識と今後の米の生産・流通の課題と対応について伺います。

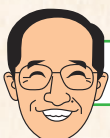
農業問題

【答弁】 後藤農林水産部長

主食用米の流通状況については、平成28年6月末の民間在庫量は207万トンが見込まれており、適正在庫量をやや上回る状況にあります。このことから、主食用米については市場に十分な量が供給されている認識ですが、低価格帯の米についてはご指摘の現状も認識しております。

国による生産数量目標の配分が廃止される平成30年産米以降の対応につきましては、他県の生産状況を絡め、国内の需給調整に国が関与するよう要請しております。

さらに、米の産地間競争の激化に備え、平成30年に新品種「東北210号」を戦略的に導入し、「ひとめぼれ」「ササニシキ」とともに「新みやぎ米ブランド戦略」を展開、様々なニーズに対応した売れる宮城米づくりを積極的に推進してまいります。



質 問

昨年9月、関東・東北豪雨において二迫川などの決壊により甚大な被害をもたらしたことは記憶に新しいところです。ゲリラ豪雨発生時のシミュレーションと基礎自治体で作る洪水ハザードマップについて、連携が大切と考えますが如何でしょうか。

【答弁】 遠藤土木部長

危機管理問題

県では、洪水予報河川及び水位周知河川に指定された28河川につき、シミュレーションによって求められた（河川が氾濫した場合に想定される）浸水区域を「洪水浸水想定区域図」として関係市町村に情報提供しており、それを基に県内29の市町村では「洪水ハザードマップ」を作成、地域防災計画や水防計画に反映させているところです。

なお、平成27年度の水防法改正に伴い、今年度から新基準による浸水想定区域図の作成を、迫川等の規模の大きい河川から進める予定です。今後とも関係市町村と連携を図りながら、必要な情報の提供に努めてまいります。



質 問

現在、登米市で工事が進んでおります県北高速幹線道路について、復興支援道路として十分な機能を備えたものにすべきと考えます。併せて国に対し積極的に要請すべきですが知事の所見を伺います。

【答弁】 村井嘉浩知事

復興道路問題

「みやぎ県北高速幹線道路」の栗原市加倉から登米市北方間の約8.9キロメートル区間につきましては既に供用しており、現在は「復興支援道路」として中田、佐沼、築館の3工区約10キロメートル区間に着手しております。国道398号北方バイパスの現道利用となっている約4キロメートル区間につきましては復興支援効果を早期に発現させるため、3つの工区の完成・供用を最優先に進めております。

一方、北方バイパスの現道利用区間については、歩行者や自転車なども利用しており、交通安全上の課題があり、国に相談しながら事業化の可能性を探ってまいります。





質 問

宮城県では「登米森林公園」をはじめ、県及び市町村によって「森林公園」が整備されております。それらの評価と今後の展開について所見を伺います。

【答弁】 後藤農林水産部長

林業問題 1

県内には、登米市の「登米森林公園」のほか、仙台市、利府町及び富谷町にまたがる「県民の森」や、大衡村の「昭和万葉の森」などの森林公園が、県及び市町村等によって各地に整備され、県民のレクリエーション施設として利用されております。これらの森林公園は、県民にとってかけがえのない財産であり、県としましては、みやぎ環境税なども活用し、こういった森林の保健、文化、レクリエーションなど他面的機能が高度に発揮されるよう努めてまいります。



質 問

森林財産の有効な活用に伴い、木質バイオマスボイラーへの誘導と普及は、森林産業の盛んな地域で特に有用と考えますがいかがですか。

【答弁】 後藤農林水産部長

林業問題 2

木質バイオマスボイラーの導入に当たっては、それぞれの燃料の形状タイプにより、施設軽費や得られる熱量、必要なスペースなど利点や特徴が異なることから、目的に応じて適切な規格、性能のものを選定することが重要と考えております。

県といたしましては、重油、灯油、ガスなどの燃料から木質バイオマス燃料に替えることで、燃料費の削減や二酸化炭素の排出削減に貢献できるものと考えており、既に木材加工工場や農業施設への導入を支援してまいりましたが、今後とも、更なるエネルギーの地産地消の取組拡大に向け導入を促進してまいります。



能代市のバイオマスボイラー



廃木材チップ原料



質 問

J-クレジットの販売支援及び認証面積の増加に係る取組みについて伺います。

【答弁】 後藤農林水産部長

林業問題 3

県ではこれまでも、環境イベントへの共同出展やホームページ、広報誌への掲載など、全国への普及PRを通し、J-クレジットに取り組んでいる団体を支援してまいりました。今年2月には、津山名産の木工芸品に登米市の認証クレジットを付加し、東京都の宮城ふるさとプラザで展示販売する新しい試みも始まり、平成27年度の販売量は登米市のクレジットを中心に前年度の6倍以上の実績となりました。今後とも関係団体と連携し、これからの取組による販売支援の強化を図るとともに、制度の認知度向上に取り組んでまいります。



【J-クレジット制度】

省エネルギー機器の導入や森林経営などの取組による、CO2などの温室効果ガスの排出削減量や吸収量を「クレジット」として国が運営・認証する制度。また、クレジット創出者がCO2排出削減不能分を抱える企業・自治体など、購入者に販売（カーボン・オフセット）することで、その売却益で設備投資の一部を補ったり、低炭素社会のための投資費用の回収や、更なる温室効果ガスの削減のための投資に活用できます。

復興関連
事業その後

市内トピックス

渡辺忠悦、動きます。三陸道 / 指定廃



大崎タイムス 平成28年4月28日(木)の記事より



無所属の会
渡辺 忠悦県議

なる。湿潤するのなら何年もか、基礎自治体では持て余す」と指摘。各地で取り組みが進むパイオニアのほかに、まきストープでも濃縮が進む可能性を示唆し「自然との共生が、国と市の責任である」と言っている。早くやっつけてほしいと求める。

対応して汚染された地区の責任で

県内処理「筋違い」

各県処理の政府方針、れいといのはどう考える。現地周辺では今も「筋違い」とてもおかし」とし、除染作業が行われているが「あの地区には東京電力の責任で原発事故がひとつもない市、敷地内での処理を訴え、京電力の固定資産税は、民、県民に

指定廃のゆくえ

関係各界インタビュー

どで恩恵があったはず。ここにはない」と道理を述べる。1㎡当たり8000kgを境に扱いは変わる。事にも異論を唱える。「8000kgベクレルと8000kgベクレルの違いは何か。8000kgベクレルをただ燃やせば、30倍の24万ベクレルに、市が仮置きをしたから、市が住民の苦情を受けている。一番の被害者は何



三陸道 三滝堂インターチェンジ開通

三陸沿岸道路の登米東和インターチェンジと三滝堂インターチェンジ(IC)間の2*が平成28年4月16日に開通しました。県内において三陸沿岸道路の延伸は、東日本大震災以降初めてとなります。

当日は、三滝堂ICで関係者がテープカット。4月14日に発生した熊本地震を受けて、式典ではなく「開通の感謝を伝える会」が開催され、約150人が出席し会が行われました。また、平成28年度事業で、国と市が事業主体となり、情報提供施設や駐車場、トイレ、物産販売施設等を整備しており、三滝堂ICに隣接した「道の駅 三滝堂」の整備も進められています。

活動アルバム



宮城学院女子大学の学生たちと懇談
(人口減少・若者対策調査特別委員会)



丸川大臣汚染わら視察



グリーンバレーイン神山視察



東北福祉大学の学生たちと懇談
(人口減少・若者対策調査特別委員会)



北海道議会視察

ご意見
お問い合わせ

宮城県議会議員 わたなべ忠悦事務所
所在地：〒987-0511 登米市迫町佐沼字大綱 534
TEL：0220-23-7757 FAX：23-7838
E-Mail：tkdmg013@ybb.ne.jp

オフィシャルウェブサイト <http://watanabe-chuetsu.jp>

渡辺 忠悦

検索



近所にお越しの際は、どうぞお気軽にお立ち寄り下さい。どんな小さなことでもよろしいのでお話を聞かせて下さい。